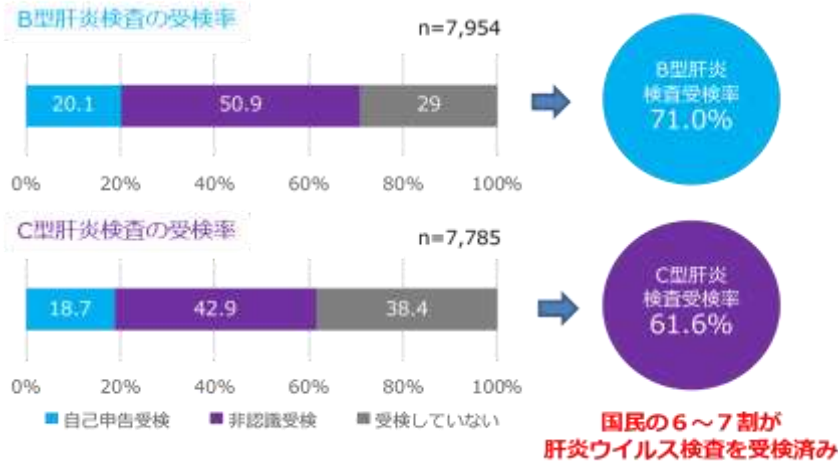


○肝炎ウイルス検査の受検状況

(厚生労働省ホームページ「知って！肝炎」データベースより引用)

平成 29 年度の厚生労働省の調査では、本人の自覚的な受検と無自覚的な受検を併せると B 型肝炎の検査については 7 割、C 型肝炎の検査については 6 割の国民が検査を受けていることがわかっている。また、献血や外科手術などの際の検査など、自分が受検したのかどうか分からないという無自覚による受検が 4～5 割を占めている。



データ出典：平成 29 年度 肝炎検査受検状況実態把握調査（国民調査）

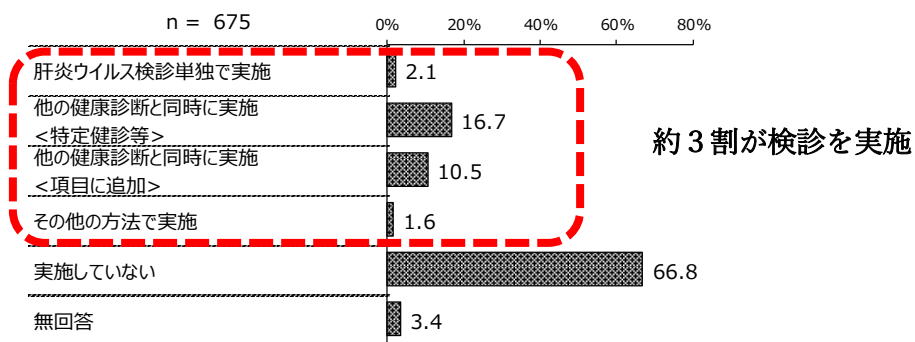
平成 29 年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金 肝炎等克服政策研究事業（考藤班）

平成 29 年度 厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服政策研究事業（田中班）

○職域（事業所・健康保険組合）における肝炎ウイルス検診の実施状況

都内事業所の約 3 割、健康保険組合の約 5 割が従業員・組合員に対する肝炎ウイルス検診を実施している。（出典：「平成 30 年度東京都がん予防・検診等実態調査」）

◆事業所（正社員に対する実施方法）



◆健康保険組合（組合員に対する実施方法）

